明治四十一年十二月三十日第三種郵便物認可　（日刊）日曜及祭日の翌日休刊　明治四十二年三月二十三日（火曜日）　第六十四號　（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

京城居留民團公文

京城居留民團規則第四號

明治四十年京城居留民團規則第十號京城居留民團税則第二條乃至第五條各別表ヲ左記之通改正明治四十二年四月一日ヨリ施行ノ件居留民會ノ決議ヲ經理事官ノ認可ヲ得タリ

明治四十二年三月二十一日

京城居留民團民長　熊谷頼太郎

第一號表　戸別税

等級	税額
特別一等	金三千圓以內
同二等	金二千五百圓以內
同三等	金二千圓以內
同四等	金千五百圓以內
一等	金千圓以內
二等	金八百圓以內
三等	金六百圓以內
四等	金五百圓以內
五等	金四百圓以內
六等	金三百圓以內
七等	金二百五十圓以內
八等	金二百三十圓以內
九等	金二百圓以內
十等	金百八十圓以內
十一等	金百五十圓以內
十二等	金百三十圓以內
十三等	金百圓以內
十四等	金七十五圓以內
十五等	金五十圓以內
十六等	金四十五圓以內
十七等	金四十圓以內
十八等	金三十五圓以內
十九等	金三十圓以內
二十等	金二十五圓以內
二十一等	金二十圓以內
二十二等	金十五圓以內
二十三等	金十圓以內
二十四等	金七圓五十錢以內
二十五等	金五圓以內
二十六等	金三圓以內
二十七等	金一圓五十錢以內

第二號表　土地等級表

等級	一坪當リ金	町名
一等	二十圓	本町一、二、三、四、五丁目、明治町一丁目、南大門通二、三丁目
裏	十圓	
二等	十六圓	南大門通一、四丁目、本町六丁目、御成町
裏	八圓	
三等	十三圓	旭町一丁目（民團役所横ヨリ三叉點迄）明治町二、三丁目、南山町三丁目（四丁目海軍武官々舎ヨリ下ル三叉點木線迄）
裏	六圓五十錢	
四等	九圓	南山町四丁目坂下迄）壽町一丁目（商業會議所迄）永樂町二丁目、永樂町三丁目、長谷川町一丁目、本町七丁目
裏	四圓五十錢	
五等	五圓	旭町二、三丁目、南山町二丁目（淸水橋迄）壽町三丁目、大和町一丁目、黃金町、長谷川町二丁目、太平町一、二丁目
裏	二圓五十錢	
六等	四圓	壽町一丁目（三等殘部）本町八丁目、鍾路通一、二、三丁目、旭町四丁目、南山町一丁目（淸水橋ヨリ天神橋迄）古市町一丁目、南山町二丁目（玉川堂ヨリ小學校前ヲ經テ南山町三丁目本線ニ至ル迄）本町一丁目裏通、[illegible]町
裏	二圓	
七等	三圓	本町九丁目、日ノ出町、新橋通一、二丁目、照義門通、旭町一丁目（三等地及山手ヲ除ク）南山町東横町、東大門通一、二、三丁目、若草町、北米倉町、大和町二、三丁目（新町ニ通スル道路兩側ヨリ以北）米倉町、旭町二丁目（六等地ヲ除ク）南山町一丁目（六等地及山手ヲ除ク）南山町二丁目（天神橋ヨリ共同井戸迄）
裏	一圓五十錢	
八等　甲	二圓	永樂町一丁目、壽町二丁目、櫻井町、竹園町一、二丁目、三丁目、羽衣町一、二丁目及横町、太平町三丁目、蓬萊町一丁目、光化門前通、水標橋通一、二丁目、和泉町、西大門通一、二丁目、東大門通一、二、三丁目、大和町三丁目（六等地ヲ除ク）靑葉町、吉野町（南廟迄）
乙	一圓	本町十丁目、東西四軒町、敦化門前通、花園町、旭町一丁目及南山町一、三丁目山手、獨立門通一、二、三、四丁目、初音町一、二丁目、光熙門通一、二丁目、茶屋町一、二、三丁目、三角町、長橋通一、二、三、四丁目、笠井町、林町一、二、三丁目、舟橋通一、二、三丁目、同胞町、芳山町、大井町、蓬萊町二、三、四丁目、玉川町一、二丁目、一、二葉町一、二丁目仲町、琵琶町、東雲町、廣川町、桜町、竹添町一、三丁目、紅葉町、惠化門通、黃橋通、古市町二丁目、竹添町一丁目　前各等以外ノ地
畑一等	五十錢	
畑二等	三十錢	
畑三等	二十錢	

備考　表裏ノ區域ハ表通ヨリ奥十間ヲ表トシ以下ハ裏トシテ賦課スルモノトス
本表等級ニ依リ難キ部分ハ民長ニ於テ之ヲ査定ス

第三號表　營業税

商工業	年税
特別一等	金三百圓
同二等	金二百五十圓
同三等	金二百圓
同四等	金百五十圓
一等	金百圓
二等	金七十圓
三等	金五十圓
四等	金四十圓
五等	金三十圓
六等	金二十圓
七等	金十五圓
八等	金十圓
九等	金七圓五十錢
十等	金五圓
十一等	金三圓
十二等	金一圓五十錢



佐倉宗吾

（廿五）

眞龍齋貞水講演

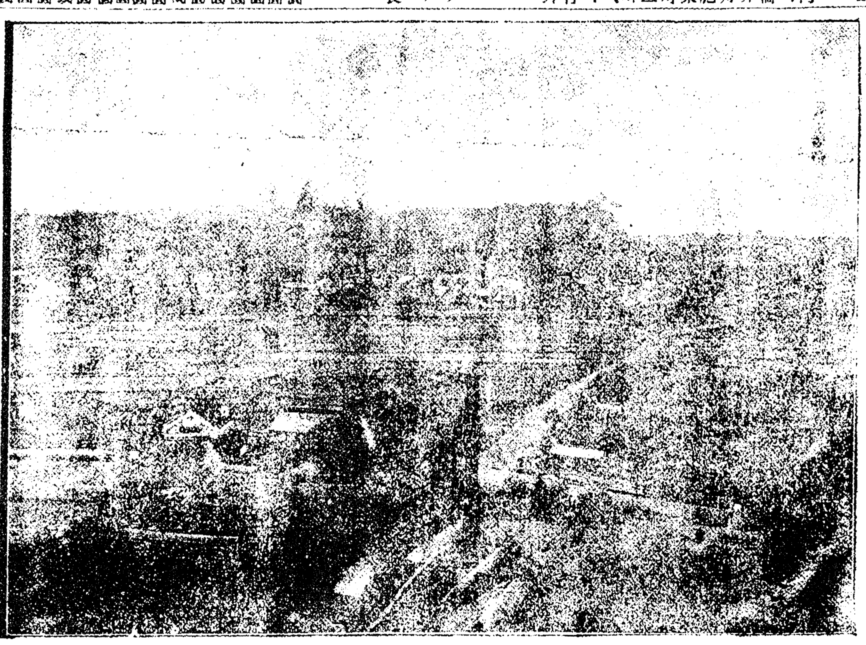
名「家にはこれ、妻子も待つてゐるだから、速く引取つてくらつせね、れ前方の腹立ちは御道理だから、惡いやうには決してしねね、希か一旦引取つて下つせね、前方が引取ると云はつしやりや、宗吾どんに此事を云ひますから」サア一同は、妻子が待つてゐると云ふ事を云はれて見ると、如何なる者でも親子夫婦の情はまた別　甲「ア、困つたと騷ぐやうなものゝ、嬶や子供が定めし心配のぶつてござるから、兎に角これは、名主樣の云はつしやる通り、一度引取りますべね　乙「希かハア名主樣、よいやうに御取計を願ひます」そんなら、一同引取つて下さいと、そこで百姓衆は皆な山を下る後で名主ばかり集りまして、甚藏、宗吾の二人に向ひ　名「それぢや桶桝の所は希か宜しく願ひます　宗「如何にも承知いたしました、能く皆樣が、早速御聽き下すつて、私共も是まで參つた甲斐がございました」さ

サア此度、已ら村の名主どんの云はつしやれでハア一同も退くやうな事情でございます　丙「然うでございますよ、彼の人が出られましたから、そんなに吾々のハア、不都合の事はございますまいよ　乙「然うでございますとも　丙「それおや皆樣、御別れでございます　甲「大きに御苦勞樣でございました、嘸ウ家ぢや皆なが待てゐる事でございませう、緩々と畔道、横道、間道、思ひ〳〵に居村を指して引揚げる狀態は、眼も當てられない程の憫然でございます、漸うの事で此方は甚藏と宗五郎、共に郡方へ出まし

もなく、何うしても、黑鍬料の出所が無いに就いては、何とか工夫をしやうと云ふので、茲に一計を運らしたのは、御領分の内の村々の村役人、所謂名主を一同城中へ喚上げ、江戸表に於て、此度御屋敷の御世繼出來、並に幼君御誕生の御慶ひに就き、御酒下されるに依て、銘々印形持參にて、御城中へ罷り出づるやうと云ふ事でございます、茲でて村々へ此事を觸れて參りますと、さて一同の者は、先づ御慶びに御城中へ喚ばれて、御酒下されがあるやうに成れば、追々御領分も穩かに成ることである、有難い事であると、一同が云つてゐる、其中に、入宗五郎は「どう、御酒下されに、印形持參と云ふのは訝かしい、斯りや何か手段を變へて上役人が惡計を運らすのではないか」と、密かに心配して居る宗五郎だに依て前途から將來を考へて居ります

大に喜びましれ、甚藏宗吾の兩人は、有繋て、牧尾越後、外一同の前で、只今一同は將門山を引揚げましてござると申上げた時に取鎭め方を引受けましたものゝ、借て如何に、役人の顏の色が少し回復つて、胸の動何あらんかと心配して參りましたが、宜い悸も鎭まりました、是れ偏に甚藏宗五郎の按排に無事に納まつたと、安堵して山を下り、愈よ郡方役所を指して急ぎました、サア山から此百姓衆、絡繹みな山を下るのに棍棒、天秤、六尺、鋤、鍬、馬鍬、鶴嘴、竹の先へ鎌を結び付けた者、肥取り柄杓を持つ者、いろ〳〵思ひ〳〵の獲物を手にし肩にして　甲「イヤ一何うもハア、なんでも仕方がねえだよ、宗吾どんが云はつしやるだ、是までの間、佛庄屋と謂はれた宗吾どんだから、何事もこれ、宗吾どんの云はつしやる事を、諾かねつて事アねえだ　乙「

日頃人望のある所からでございます、そこで憫然ではあれども、川嶋多か一存を以て、桶桝を拵けたりと云ふ廉に依り、繩掛けられて家財は闕所、當兵衞は炎の毒に[illegible]いて獄門と成りました、數代續きました川嶋多の名家も、惡人玄蕃、越後等の計略のため、茲に滅亡する事と成りましたさて百姓は、憤りは漸く解けたが、桶桝も以來用ゐないと云ふ事になりましたが、惡人の堀田玄蕃、まだ〳〵是にて思ひ止まる氣色



（佐　倉　城　趾）

京城新報

東拓 士族の商法

●驛屯土の評價● ●株主總會の問題とならん●

題して士族の商法と云ふ、聊か突飛の觀なきに非ざるも、東拓會社の韓國政府持株六萬株即ち三百萬圓の代りとして收容したる驛屯土一萬一千餘町歩の授受の如きは慥に此滑稽なる題目に相當せずや、如何に東拓會社なるものが營利一方の會社に非ざるも實際の眞價を辨せずして單に一萬一千餘町歩を以て三百萬圓と評定するに至ては余りに突飛なるに非ずや、會社當事者の語る所に依れば一反歩の評定價格は水田二十六圓畑地十八圓なりと云ふ、果して之れ恰當の價格と云ふべき乎、余輩の知れる所を以てすれば韓南の米產地忠淸全羅の良水田にして現時の取引價格は一反歩十五六圓なり、少しく場所の惡しき處は十圓以內なり、忠淸全羅豐穰の地にして然りとすれば黃海江原平安咸鏡の諸道に至りては半額若しくは三分の一にても買收し得る所少しとせず、水田にして然り畑地の如きは之に準じて其價格推して知るべきのみ、要するに驛屯田なるもの〻平均價格は一反歩十圓を以て相當の價格なりとす、然るを會社は以上の如く水田を三十五圓畑地を十八圓と評定せり、斯る高率なる評價は何を標準に割出したるものなるや、惟ふに現時の賣買價格に依らずして唯米穀の收穫高を概括して日本內地の田畑に標準を取りし者に非ざる乎、然らざれば斯る法外なる評定價格の現はる〻理由なし若し夫れ收穫高に依り小作人の所得を見積り而して地方の米價に換算して標準を立つるに於ては斯る評價は立たざるなり、而も現に賣買しつ〻ある槪定の相場あるにも拘らず、之に一倍若しくは三倍の評價を以て收容するに至りては余りに算數を度外視するの營業なり、之が爲に會社は未だ事業に着手せざるに約二百萬圓の損失を招くに至るなり、是をしも士族の商法と云はずして將た何とか云はん、余輩が突飛の題目を揭げて警告するも決して謂はれなしとせんや、會社が斯る不眞面目なる事をなすに至れるも、畢竟創立者の誤にして現當事者の手落とのみ云ふ可らず、最初韓國政府に出資の代りとして土地を提供せしむる約束をなすの際に之等の事は充分に取極め置く可き筈なり、世人は創立當時の難產を思ふて其前途を氣遣ひたるに果せる哉、劈頭第一に此失態あり、世人は之が爲に會社の前途に向て大に杞憂の念を抱くに至るべし、今に於て此失態を矯正するに非ばずんば來るべき株主總會に於て株主の問題となるべし、而して人民が地方官吏の誅求を免る〻爲に假りに驛屯土となし置きたるもの少なからずと聞く、之等も今に於て方法を講じ置かざれば授受の際に面倒なる問題起り來るべし、余輩は會社の當事者にして以上の失態を自覺するに於ては速に韓國政府に交涉して相當の時價に訂正して收容町歩を增加せしむる乎、或は株數を減ずる乎、二者其一を實行して會社の損失を未前に防止して眞面目に經營の歩を進めざる可らず、余輩は呉々も之を會社の當事者に注意するものなり、

東京電報

▲非改革派の會合 進歩黨非改革派三十六名昨夜會合し坂口仁一郎氏新政黨交涉顚末を報告し要するに意の如くならざるを以て自然の成行に任せ未了の儘に置く事となる(二十日發)

▲貴族院令改正確定 今期議會の貴族院令改正案は今日の本會議にて猛烈なる反對ありしに拘らず多數を以て原案の通り可決確定す

▲敦賀淸津直通航路 敦賀淸津間直通航路の件請願委員會にて採擇さる

▲宮中の皇靈祭 今日春季皇靈祭に付宮中にて皇靈殿神殿御扉遊ばされ天皇皇后兩陛下並に東宮同妃兩殿下の御代拜あり夫れより文武官の拜禮ありたり(二十一日發)

▲政府は增稅反對 米輸入稅引上問題は今日貴族院にて中島氏より政府の意向を聽きたるに若槻政府委員は「政府は其農民保護の趣旨に於て反對せざるも國民全体の蒙るべき影響重大なるが故に同意する能はず」と答へたり

▲韓皇太子の參內 韓國皇太子今朝宮中に參內小田原滯在中の御厚遇に對し日本語にて御禮を言上す(以上廿二日發)

外報一束

▲露國と墺土協約 露國政府はボスニア及びヘルツエゴヴヰナに關する墺、土兩國の議定書を承認し且墺太利に對し該議定書は其關係國が問題の決定を伯林條約締盟諸國の列國會議に委任すべき必要を毫も動かすものにあらずと通告せり

▲日獨協約說 ヘラルド新聞の伯林電報に據れば日本は獨逸と接近し協約締結の運びにも至らんとする形勢あり其茲に至れる理由は近來獨逸と淸國とは日に日に接近しつ〻あるを以て日本は淸國と親しむには先づ獨逸と親しむを得策とするが爲めにて又其裏面には近來何となく日英同盟の力薄らぎたる事實ありと

▲駐日大使依然 オスカーストラウス氏は愈々日本に赴任せざることに決しオブライエン大使は重任することゝなれり

▲獨伊の提案 獨逸は列國會議の開催に先立ちボスニア問題に關して默契の一形式を列國に提案するの意向を有し居れり又伊太利は列國會議に於ける制限的議題を撤回せんことを提議せり墺多利は右の二提案を受諾せり

▲布哇の獨身稅案 今回布哇島議會下院議員エーシーロングなるもの多數議員の贊成を得て同島議會に獨身稅法を提出する事となれり同案の內容は「廿三歲以上の男子にて未だ結婚せざるものは年二弗づゝの稅を課す」と言ふに在り右は目下白人交際社會の面白き談柄の一となり居る由なるが同案は勿論排日の意に出でたるにはあらざるも萬一斯る法律通過すとせば最も影響を蒙るは獨身者の比例白人其他に數倍する同島數万の同胞勞働者なる可しとて同地の日本人有志は騷動し居れりと

▲米國新關稅案 華盛頓來電……新關稅法案は製造品にあらざる羊毛は別に減稅せず鐵鋼諸製品の稅は殊に低減し地金を無稅とし又綿稅及絹製造品稅も少しく低減せざるならん

▲白耳義王東遊 白耳義王レオボルドは近々契斯科に遊び西伯利亞鐵道を經て日本に來らるべしと

▲炭坑問題經過 本溪湖炭坑問題につき小池總領事より提出したる新案に對し徐總督は採掘稅につき異議を申立て總督は更に自己の新案を提出せり

雜報

●皇室債務審查會 本日午后一時より度支部財產整理局にて皇室債務に關する審查會を開催したりと

●漁業許可の方針 將に施行をされんとする韓國漁業法による漁業免許及び許可の方針を聞くに先づ一從來通漁せる實力ある從業者一團体的の確實なる移住的漁業者一、一個人の實力經驗ある出願者等に公平に免許又は許可し其の漁場分布の如き日韓漁業者の利害を顧みて適當なる處分をなす方針の由にて近時各新聞に西海岸の漁業を福岡玄洋社同人の一派に獨占せしむるが如く傳ふるものあるも當局に於ては他の請願者と同一に取扱ふものなりと云ふ

●漁業免許の委任 農商工部水產局に於ては漁業法第九條第二號、第三號及第五號に對する漁業の免許はこれを理事廳及觀察道に委任したる由にて日本人は理事廳に韓國人は觀察道に夫々申請すべしといふ(備考、漁業法第九條第二號風力汽力又は潮流に依り囊網を水中に於て引曳して爲す漁業、第三號、人力に依り又は機力を應用し漁綱に於て魚類を圍繞し漁船に繰上て爲す漁業、第五節第二條第二項の漁業にして免許を受けざるもの)

●中村事件の抗告 中村再造氏刑事被告事件は京城理事廳檢事に因つて不起訴となされたるを以て告訴人永島氏は右事件を昨廿二日法務院に向つて抗告したる由なり

●漁業法實施と各縣 四月一日より施行さる〻漁業法に基き山口、福岡、佐賀、長崎、大分、島根、岡山、香川、愛媛、德島、熊本、廣島、三重の各縣は或は縣費を以て或は郡費を以て又は地方公共團体費を以て縣民の移住的漁業又は根據ある通漁を企畫し目下夫れ〻準備中也

●三稅施行區域 酒、煙草、家屋の三稅施行に就ては之れを外國人に適用するや否やは目下の一問題なるが其筋にては居留地以外にのみ適用する事に內定したる由にて其の以外にある者は內外人を問はず悉く課稅すべき筈にて條約上居留地の區域確定せるものは言を俟たずと雖も然らざるものは外交覺書等にて決定すべく京城の如きは城外一里を以て限界と定まりたりと云ふ

●財務署區域の發表 本日の官報を以て財務署名稱及管轄區域の改正を發表されたり

●金融組合設立準備 地方金融組合の成績は頗る良好なるを以て其の節にては之れを增加すべしとの事は既報の如くなるが先日發表したる追加豫算に於て四十萬圓を計上せし外十萬圓は既に本豫算にて計上しある故合計五十萬圓を投じて現在五十ヶ所の外尙五十ヶ所を增加し合計百ヶ所と爲すべき計畫は目下準備中にて全羅南北道の如きは凡そ十ヶ所を設くる筈なりと云ふ

●曾禰副統監の參內 曾禰副統監は國分、佐竹兩秘書官を隨へ今二十二日午前十一時參內せり

●伊藤統監の消息 道後溫泉に入浴中の伊藤統監は一泊の豫定にて昨二十一日大三島に遊び再び道後に歸るべき旨其筋へ電報ありたり

●宇佐川總裁の謁見 宇佐川東洋拓殖總裁は別項曾禰副統監の參內に帶同され韓皇に謁見正午退出したり

●皇室債務審查發表 度支部臨時財產整理局にて審查中なる皇室債務は略ぼ其の整理も確定したるを以て本月末日頃には之れが處分を發表すべき筈なるが何れも詳細なる法理上の理由を附する由にて之れに不服ある者は此處分發表後六十日以內に控訴院へ上訴すべきものなりと

●船舶法の發布期 既報の如く關稅局にて調査中なりし船舶法は目下統監府に於て調査中なれば不日發表せらるゝ筈なり

●地方費法の制定 地方費法は過日の閣議に於て原案に多少の修正を加へて之れを決議し統監府の承認を求めつゝあるを以て不日同法の發表を見るべしと

●韓米の輸出地 日本政府が輸入外國米に對し課稅せんとするに就ては韓國の輸出米穀は之れが爲めに如何なる影響を蒙むるやを見るに昨年度に於て韓國米の輸出せられたる總高は(備考一担は百斤と知るべし)

	(國別)	(數量)	(價格)
玄米	日本	八六七、七五二、三七	三、三九二、三八六
	英國	三三、七〇	一八六
	浦鹽	二〇、〇〇	八六
	支那	五九、二五	二、二三〇
	和蘭	一六、六八八、〇〇	六〇、七三六
	計	八六五、〇〇三、三三	三、四五六、四五九
精米	日本	二六九、三三二、八八	一、三〇五、八六八
	支那	三二九、七四三、四九	一、一六〇、三二一
	浦鹽	八六、九五七、五〇	四四六、〇〇七
	香港	八九	五
	計	六〇六、〇一四、七六	二、九二三、七七一
其他の米	日本	四七、六二〇、〇〇	一二〇、八二三
	支那	一、五五一、二三	四、二九三
	浦鹽	九九、〇〇	二九六
	計	四九、二七〇、七一	一二五、四〇一

●道郡主事の發表期 各道郡に於ける主事の增員に就ては屢々報導したる處なるが愈々岡次官の本月下旬の歸任と同時に發表の運びに至るべしと

●練習生入場式 第三期會計事務練習生四十三名の入場式は昨日午前十時より警察官教習所に於て擧行したるが本期練習生の卒業を以て韓國各警察署に於ける會計主任の講習は一先づ終了する次第なりと

●米稅引上案握潰運動 兼て報導したる如く政友會の橫暴なる政略により下院を通過したる外米輸入稅引上案に付ては目下貴族院に向て握潰しにすることに日夜狂奔極力運動中の旨月叶京商書記長より京城日本人商業會議所內聯合會事務所に向け昨日通信ありたりと

●平壤日語學校改稱 官立平壤日語學校は四月一日より官立平壤高等學校と改稱せらるゝ事となり本日の官報を以て之れに關する官制改正の件を頒布されたり

●北韓牛疫の近況 咸北道牛疫の最近の狀況を聞くに慶源、穩城、富寧、茂山、鏡城の各地には尙多少の現患牛あるも當局に於て極力防疫に努めたる結果其の他は一般に鎭靜に歸したる由にて全部の撲滅も遠きに非ざるべしと而して防疫手段中最も效果ありしは血精注射にして從來血精は一ヶ月間效力を有するものと認められしが昨年十月に注射したるものは今回の牛疫に罹らずして其の效力の三四ヶ月も持續するを證したりと云ふ

●鎭南浦の近況 平安南道警察部長より其筋に宛てたる報告に依れば鎭南浦は昨年八九月頃より甚だしき不景氣の狀態にありしが本年度に於て新たに起工すべき築港工事(此の豫算十萬圓)及び度支部の經營に係る三和府廣梁灣の鹽田設置(此豫算二十五萬圓)の外に帝國議會の協贊を經たる平南鐵道布設計畫其他日本人漁業者百名餘の沖網漁業、江西郡靑山里鉛鑛の外に黃海道載寧、安岳、殷栗等に於ける鑛山の發掘等新事業の勃興乃至擴張に伴ひ目下人氣頓みに恢復し各酒樓等も甚だ繁昌を極め居れりと

●埋築問題委員會 仁川埋築問題委員會は數々流會となりたるが一昨日午時三時より仁川民團樓上に於て開かれたるが出席委員は伊藤靑木慶田八田平山の五氏にして午後七時まで議する所ありたるが更に角本會に於て結末を告げたりと云ふ

●韓國視察團 大津の人小林吉三郎氏主唱となり關西地方實業家約五十人の團体にて韓國を回遊する由なるが渡韓期は四月中旬なりと

●佐野砲兵大佐 咸興駐在の野砲兵聯隊長砲兵大佐佐野勝次郎氏は二十一日入京し西小門外の野砲兵隊の檢閱中なり

●明石少將の歸期 東上中なる明石少將は本月末頃歸任の豫定なりと云ふ

●熊谷民團長 中學校の用務に關し文部省を訪ふ爲廿一日上京

●藤田謙一氏 日韓印刷會社長の同氏は去る十九日發途上京せり

●一進會の義捐 一進會は文川郡饑饉に對し同會の名を以て金二百圓を義捐せり

●山縣セウル社長 頭本元貞氏の後を享けセウルプレス社長となりたる元萬朝報記者山縣五十雄氏は廿日入京浦尾旅館へ投宿したり

●高等女學校卒業式 來る廿四日午前十時より同校に於て卒業證書授與式擧行せらるべしと云ふ

●仁川日語學校 仁川日語學校にては明二十四日仁川小學校にては廿五日仁川幼稚園にては廿六日各卒業證書授與式を行ふ筈

●樺太丸出帆 仁川大連間の陸軍御用船樺太丸は二十二日仁川を出帆し大連に向ひたり

●高砂丸出帆 仁川北淸間の命令航路船にして太沽航路の初航船たる高砂丸は一昨日仁川に入港し精米千八百五個を積みて大連に向ひたり

●福州丸入港 仁川安東縣間の初航船にして遞信省の命令船たる商船會社の福州丸は明日仁川を出帆し龍岩浦に寄港して安東縣に向ふ筈

●新潟丸入港 仁川橫濱大連間の郵船臨時船新潟丸は本日仁川に入港日韓瓦斯會社の木材四百四十四を揚陸したる後大連に向ふ筈

●敍任辭令
臨時財源調査局技師 塚本靈遠
命第二課勤務(給三級俸)
財務署財務官 李鐘殷
補咸興財務署長(給八級俸)

公人私人

▲堀謙氏(元山財務監督局長) 二十日入京浦尾旅館に投宿

▲前田勘太郎氏(官立漢城師範學校教授) 二十一日入京松壽館に投宿

▲中山峰次郎氏(平壤財務署財務官) 二十一日入京九州旅館に投宿

▲兩角熊治氏(平壤水道事務所技師) 同上浦尾に投宿

▲松永俊重氏(長崎縣西彼杵郡長) 同上

▲湖崎喜三郎氏(京城高等女學校教諭) 今夕東上の筈

近事片々

▲統監 更任の說は亦立消へとなり例により伊藤公居据りの說亦持ち上げれりと噂々

▲後任 としては桂侯の外適任者なく爲に桂侯內閣退引の上更迭を見るべしとの事也

▲隨分 呑氣極まれ斯し也其間の統監政治を如何にする積なるか例の如く現狀維持乎

▲桂侯 も茲一番奮發して例の御得意の手で老公を拜み倒して適材を後任に選定せよ

▲何も 自分が其任に當るまで統監政治の現狀態を此儘に置くにも及ばし速に決せよ

▲統監 の後任とて何も元老や位階ある人に限るに及ばず思ひ切て民間より拔擢せよ

▲手腕 さへあれば位階の如きはなくもよし英のクローマーは總領事なりしに非ずや

▲貫目 云々杯は過去の時代に屬す今は實力の世の中なり大頭侯の英斷を望むや切也

▲大石 正巳の如きも好個の統監ならずや彼が韓國公使としての定評もあるに非ずや

▲徒に 列國に對する疑懼を抱く勿れ列國は滿韓の施設に就ては総て是認しつゝあり

▲遠慮 も時に必要なれども時機到來したらば極て大膽に決行せよ之れ外交の秘訣也

▲日本 の外交は常に此時機を逸して事に遇るゝ弊あり滿韓經營の如きも好個の例也

▲韓國 の事は先づ何事を措ても統監に適材を得るを以て先決問題となすは輿論なり

▲適材 を得て根本的の方針決定せば總ての事は快刀を以て亂麻を斷つに等しからん

▲統監 政治も既に三年有余最早英斷を試むるの時期に達せり當局者大に發憤せよや

▲帝國 議會に於ては服部代議士宮內大臣の失行に就て質問書を提出せりとは面黑し

▲小林 孝子も逆運れの好き蠢に有名なる女となれり假令緣談不調となるも憾なき乎

▲新政 黨も漸く成らんとす犬養一派は之に投ずるや否や抑も亦大同派の今后は如何

▲尾崎 學堂も島田沼南も淸獨所存を口にすと替れば替る世の中なり邑之卿も眞相乎

●淸津敦賀航路補助 韓國淸津港の發達は爾來滿洲各地の產物多く……は一度島港に入り島港より更に……たるが殊に今回島港が自由港を撤廢されたる結果今後一層不便を生ずるを以て政府は該航路に對して年々五萬圓位の補助を與ふるの意向ありと

●水產局員の出張 農商工部にては漁業法發布の趣旨及び其の……を周知せしめ尙當該地方官吏をして其の事務取扱の心得をも知らしむるため水產局員を頭書の方面に出張する筈なり

水原、大邱、釜山、馬山、晋州、淸津、 主事 米花芳太郎
海州 主事 高橋重見 鄭水產局長
全州、公州、春川 技手 遠山龜三郎 飜譯官 李容漢 書記官 嚴盛永
技手 池田藤三郎

仁川港に十九日入港したる淸國汽船新濟號は既報の如く人參六十万圓分を積載し二十

●浦津敦賀航路補助

韓國浦津港の發達以來滿洲各地の產物多くは陸に集中し同港より北陸方面[illegible]は一度烏港に入り烏港より更に露國義勇艦[illegible]陸し因て敦賀に入港す…甚だ不便を感じ[illegible]れるが殊に今回烏港が自由港を撤廢されたる結果今後一層不便を生ずるを以て政府は該航路に對して年々五萬圓位の補助を與ふるの意向なりと

●水產局員の出張

農商工部にては漁業法發布の趣旨及び其の[illegible]せしむる必要あり可成此の際に於て其の[illegible]行を爲す目的にて先づ事として韓國內に此を周知せしめ尙當該地方官吏をして其の事務取扱の心得をも知らしむるため水產局員に分派して此等諸般の指示及び事務の打合せを遂げしむる事とし一兩日中に左の人々頭書の方面に出張する筈なり

水原、大邱、釜山、馬山、晉州、淸津、 主事 米花芳太郎
海州 主事 高橋重見
仁川、群山、木浦、光州 鄭水產局長
全州、公州、春川 飜譯官 李容漢 書記官 嚴疊永
咸興、元山、鏡城、會寧、城津 技手 池田猪三郎

●淸國汽船新濟號

[illegible]豫報の如く人蔘六十万圓分を積載し二十一日上海に向ひたりと

雜報

●京城の看護婦會(一)

▲組織は譯のないこと
▲博徒の親分と同樣だ

何々看護婦會と看板を揭げて多數の看護婦を置き病院又は個人の求めに應じて外勤する會が京城市中に四五ヶ所もある是等の中には隨分立派な資格と技倆とを有て居る者もあるが又全く看護の智識なき如何樣者を誤魔化して多額の日當をセシメて居る不埒者もあり其外隨分鼻持ちのならぬ醜聞もある、今左に所謂看護婦會なる者の內容を揭記せん

▲會長の資格 看護婦會なる者は元々相當の手續をなして認可を受くべき筈なるに左樣な手續も何も履ます只**自分勝手**に何々會と銘打つて直ちに團体を組織する、是れが會長さんは必ず數年看護婦をやつて相當資格と技倆とを有すべき筈なるに、全然**無資格、無經驗**の人で臆面も無く**會長**として、多數の看護婦を置き病院や開業醫に賴んで雇つて貰ひ而して看護婦からは日給の三分の一の手數料を取つて居るのだ

▲會員の資格 何れの會にも夫々規則を作つて何年以上看護の經驗を有する者は何等と堅く定めてあるが是れはホンの形式のみだ、先づ京城各會の連中を見渡すと日本で赤十字社若くは養成所等で所定の敎育を及け相當の實地經驗を履んだ者が一會に一二名位は居るが是等は何れも**特等**として日給の貴き爲め割合に雇口少なく爲めに長居を爲ない、そして二等三等邊には無資格者が多い、此間迄會社や商店の事務員であつて者甚だしきは**下女奉公**抔をして居た者とか云ふ奴を會の先輩が驗溫器の使用法や病床日誌の記載等を敎へて直ぐ其儘投り出すのが澤山ある、此中無筆の者や年寄り等は流石に看護婦とは爲し難く止むなく附添の名義を附して居る

▲會の收入額 看護婦の日給は特等二圓五十錢一等二圓、二等一圓五十錢、三等一圓附添八十錢位で傳染病となると五十錢位增額するのである、而して會長さんは此三分の一を取るのだから、卽ち二等の看護婦を一人出せば一日五十錢を得る、故に一二等の者を**五六人**宛絶へず出せば月々**百圓位**の收入はある、そして外勤せざる時は一日幾何の賄料を取る、會長は、ホンの看護の仕事口を尋ねる計りで是れだけの收入がある、其れも看板を揭げて少しく世人に知らるれば仕事口を尋ねる必要も何もない、先方から續々申込んで來る、されば拱手して居て百圓二百圓を儲かる譯で丁度**博徒の親分**が乾分に勝負をさして**テラ**を取ると同じ事でこんな面黑い仕事は亦とない(未完)

●人民郡守を撲る 平安南道に於ける農事模範場設置に要する寄附金の募集に關し同道龍岡郡に於ては之れに反對する者ありて去る二十日午後二時頃五六百名の之等不昧漢は郡衙附近に集合し夫れより郡衙を襲擊して郡守及郡主事に重輕傷を負はせたるが此の報に接したる鎭南浦署に於ては是深署長直ちに巡査數名を引率して現場に出張し首謀者二名外二十四名を逮捕の上本署に引致し目下嚴重に取調中なりと

●ボヤの數々 近來火災の頻々たるは寒心の極みなり去る十九日午后二時三十分當地本町五丁目三十七番戶橋永久吉方不在中炬燵の火より發火し蒲團及び疊に燃え移りたるも近所の石橋三次郎と云へる者之を認めて消止む▲同月午前十時三十分南部大龍洞九十八統七戶金復立方にて小供の惡戲より失火し溫突より屋根を燒き拔きしも大事に至らず消止めたり▲南部會賢坊小公洞三十統二戶李舜憲方にては去る廿一日午後七時三十分頃炊事場より發火したるも直ちに消止めたりと

●弔慰金の謝禮 曩に職務に殪れたる故警視廳警部山本雅夫氏の爲め吾社は汎く義捐金を募集し警視廳の手を經て之を遺族に贈與したるに昨日實兄山崎太一氏より確かに領收したれば建碑の資に供する旨申越したり

●壽座の初日 壽座に開演すべき眞劇合同團三輪、西一行は一昨日仁川を打揚げ昨日は同座の作者にして此程死去したる菅原天擊子の葬儀を爲し本日乘込み明廿四日愈初日開演に決したるが藝題は大阪每日所載の「松山嵐」全八幕なりと

●南部署の密行 南部警察署にては火災並に盜難の豫防を計る爲め昨夜より多數の巡査にて巡邏密行を開始したりと

●南山樓の大輸入 新町遊廓南山樓にては今般七名の新妓を抱へ昨日屆出の手續をなしたるが其面々は橫濱生れが齋藤わか(二十)源氏名糸大塚ふく(十八)小願大村かづ(十九)絹重三橋(八)で(二二)桔梗で大磯生れが重田とめ(二二)喜登又ズツト遠方の北海道から來た五十嵐とみ(二三)鈴香及び川島うめ(二九)春海等にて何れも一騎當千の豪の者なりと

●衛生局の無料種痘 內部衛生局試驗課にては痘瘡豫防の目的を以て每年二、三、四、五、十一の六ヶ月間每日午前十時より午後三時迄(但し日曜日及び祭日を除く)一般人に對し無料にて種痘を施行する事とせしが而して當分の間北署齊洞前廣濟院跡に於て接種するを以て希望者は右の時間內に出頭すれば極めて親切に取扱ふと云ふ

●一昨夜の新町 一昨夜は日曜の事とて新町遊廓も平素よりは稍賑ひたるが登樓客總計百五十一名此の費消高七百二十九圓八十二錢此の中皆春樓の二十三人百十圓八錢が最高なりと云ふ

●日出町の天然痘 當地日の出町九十四番戶の一山の井かめ(十九)は去る廿日天然痘に罹り嵜坡病院に收容したりと

●屑屋の下女鑑定法 下女の手と臺所とは面白い關係がある臺所の淸潔な家の下女の手は必らず淸潔で不潔な手は不潔な臺所に蛇度いるナンダ屑屋そんな事があるものかと仰しやるかしれぬが長年の間世間樣の臺所といふ臺所を覗き廻つた經驗でそれは確實なものです素人考へでは手を庇護ふ樣な不女は臺所だつて思ふ樣に拭掃除もすまいと云ふ者もあろうが私の申すのは斯うなんです「手を奇麗にする位の女は臺所も奇麗にする」これではまだ言ひ方が惡いが「臺所を淸潔にする位の女なら手も淸潔にする」何うです此れに違ひは無いでせう彼の蛸の腐れかゝつた樣な自分の手が氣に掛らぬ樣な女で何の臺所の不潔を氣に仕樣一年も洗はない髮を手でがりくに引かいた例の蛸の樣な手で直ぐに香の物を切る汁の實を刻む考へると旦那樣や奧樣は屑屋よりはずつと汚い食品を食つていらつしやる第一自分の手を汚して置く程の下女の頭腦には淸潔不淸潔など云ふ考へは一厘一毛も無いのだから仕方がないがそんな不潔な下女に臺所を任せてをかれる奧樣の身がしれぬ云々、屑屋が多年の經驗談一面の眞理があると首肯される奧樣は下女使用の上に はた下女採擇の上にれ考へが肝腎

●商業學通信敎授 大阪市北濱二丁目大日本商業學會にては正則商業學科講義錄を發行せるが其內容頗る完備し學し得ざる士の爲めには至極重寶にして恰も在校者と同一の課程を僅かに一ヶ年半にて修得すべしと云ふ尙今回新學期を開講せるを以て此際入會するを便とすと云ふ

●クラブ洗粉の盛況 幾多の化粧品中に於て最も製產額の多きはクラブ洗粉なり殊に好評を博せる同品は從來女子專用品の如く解せられしも洗料として從來石鹼に優るとて近來は盛んに男子間にも使用せられ益々好評を重ねつゝありと云ふ

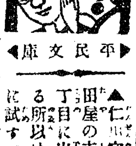
●仁川花柳たより 一時全盛を唄はれたる一山本店も、憐れむ可し不景氣の風に吹き荒され目下殆ど閉店の有樣にて僅かに四名の藝妓すら檢番に預け居るとかに候▲此の內駒助は濱町邊の某老紳士が千圓を投げ出して近日落籍し手活の花と爲す由に候▲一富士の滴次は○呂洋行の伊東某又福之助姐さんは本町通りの鍊津とか云へる孫持ちと、共に大熱々で水を注げばチューと音を發する位に候▲同樓切つての尤物富美子君が惚けなりと稱する當て歌は「今迄は女房持ちやと遠慮も爲たが、こうなりや度胸の据へ處」都々逸の文句羨ましき限りに候▲仁川の三妹藝妓と云へば一富士の君之助、小富士、一昇の三人で有名なものに候、此の中なる君之助君は隨分能く太つて御座るにツマトーゼを屢々買求め居る由なるが何んの必要かと探つて見ると築地の艛形先生への進物とは結構なる次第に候▲鱗の笑子は裝りは相不變舞子姿なれども年はアレで十七歲中々の發展主義でチョコく俳優に手を出すとか聞及び候▲淺岡の樹龍は博愛主義を以て有名なる妓に候處近來は土耳古煙の混血兒に喰付き我れから血道を揚げての逆上方なりとは飽迄博愛主義なることに候(雀)

▲ソンナ告げ口をするものヂャありません(給仕小僧總代)▲文庫の擔當配者さんにはれ氣の毒でよ御忠告ならば直接に驅び升(給仕小僧總代)▲文庫の擔當配者さんには本町通りの下駄屋の娘さんのことに付いて少し述べさせて下さい、俠客と自稱する人よ君は氣の毒な人である目出度い人である君は野心がないと云ふが其の云ふのが野心の有る證據だ僕は精探子に左祖する君の樣な狼に付いてられちやア下駄屋の娘は嘸迷惑だらう(朝鮮島)▲私は茶道の稽古を致し度いのですが何所にかれ師匠樣の居られるなれば御敎へを願升(十八歲の女)▲僕は今年とつて廿一歲顏は振はず才もなければ學問もない雜貨屋の小僧月給僅かに一ヶ月七圓生れは江戶の新橋兩親共に健全家は貧家小生は文なし花嫁御世話を乞ふ但し別嬪にして二十前後學問が出來て資本二百圓持參のものに限る(浪人の守)▲モ少し眞面目ならんことを希望する(係り)▲貴紙三面記事中見るべき者は走馬燈のみ我は其本人なり以後務つてドシく暇に任せて書き給へ吾れと等しき者の大に參考とならん(本人)

●韓語獨習

日語	韓語
一年	イルニョン(ハナヘー)
五年	オーニョン(タソッタイ)
十年	シップニョン(イヨルハイ)
十五年	シップオーニョン(イヨルタソッタイ)
虎が、人を、喰ふか	ホラッン、イーガーサーラームル、モクソ
一年に、數十人づゝ喰ひます	イルニョンエー、スーシプニンシク、モーコーヨ

●走馬燈の夫婦 本日休載


◀平民文庫▶

▲仁川宮町の珍店成田屋の支店が本町二丁目に出來た其珍たる所以は宜しく實地に試すべきである(下駄狂)▲此の頃は日曜と云ふと寒い腹が立つけれど仕方もない(小官吏)▲平南德川郡の主事吳鍾泳と云ふ奴は盛んに收斂誅求を行ふ土地家屋の證明や何んかにつけて善からぬことが多くて郡氏は非常に難澁して居ると云ふ事實とすれば不都合極まると云はねばならぬ何れにしても斯う云ふ噂を立てられると云ふことが既に良くないのだ當局者は何んとか仕たら宜からう(郡民總代)▲ぎの字君にた答へします桃山遊廓には只今迄入船、一樂樓、萬梅、梅月、淸榮樓、玉川樓、常盤樓、日曜樓、相生樓、桃山樓の十軒で別に空家が二軒、國井泉の遊廓事務所が一軒です(小粹士)▲貴社の給仕や小僧は實に出洒張るよチト叱り玉へ(見た人)

●天氣豫報(自廿二日午後六時 至廿三日午後六時) 北東の風晴后曇

薪炭に代る新用燃料
無烟煉炭
特色 火付宜く火力耐久價格低廉
用途 煖爐、暖爐、竈用に適す
周防徳山海軍省煉炭所東隣
谷口無煙煉炭工場
京城特約店 京城濟昌… 電話六〇三番 巴商會
韓國一手販賣 京城太平町二丁目
神田組

▲無料紹介欄▼

人事部

求職業 友人歳二十才普通教育あり從來外國商館に勤め商店及會社事務員に雇われたし但身許に心得あり 社内河村(一八六)

夜間雇われたし 但し午後七時半頃より新聞配達及び如何なる勞働にても差支なし 大平町郵便受取所左込横入 前田(一九三)

歳廿才身体健全高等小學卒業身元保證人あり職業不選至急雇れたし姓名在社(一九四)

求職 英韓語及簿記に熟達す會社官廳事務に經驗あり身元確實 新橋也一の一沖方 伊藤睦治

裁縫、刺繍、編物、造花、摘紅工等御望みに應じ教授申候 大和町二丁目百六十八 技藝女塾(一九九)

物件部

貸家 京城明治町二丁目所在二階建五間家賃十五圓、廿圓、卅五圓 疊建具完備御勝手元用水便利也 明治町角森田合名會社貸家係(電話二三二〇)(一七八)

貸地 龍山青坡契(彈藥庫横)千五百坪 便利貸附仕候風景絶佳住宅向 京城北米倉町一丁目 多田賀店(一八〇)

呼より電話譲渡したし 社内中村

京城龍山**電話**なしたし 氏名在社(一九六)

貸地 本町一丁目見晴よき地四十坪あり 京城濟陶領事館通 清韓洋行

電話譲渡したし 本町一丁目 小川勝平事務所

電話譲受けたし 本町一丁目 小川勝平事務所(一九八)

廣告

履物卸賣商
營業品種目 花緒類、雪駄、表、スリッパ、爪掛、類附屬品各種 誠實勉強應需
大阪市東區南本町御堂筋
太田宇兵衛商店
電話(長)東一三九二番 電略(〇ヲタ) (振替貯金口座大阪五六四番)

辯護士 皆川廣濟 京城南山町一丁目山手 電話八五七番

京城府通橋東南川邊
皆川法律事務所 電話六九七番

訟訴用にて旅行中の處歸宅致し候
辯護士 岩田仙宗 明治町貳丁目七十五番戸 電話三五四番

會席御料理



本町八丁目
富士見樓

(春の野に出て若菜摘む)

御袷 又は薄綿入には銘仙六圓より大島二圓七十錢よりメサマシ織二圓廿錢よりフタコ一端廿五錢よりの類にて正札の引下は新荷割安なる故

本子ル 十五尺もの一反臨時減價五圓七十錢 **モス友仙** 時ならぬ花を咲かせつ模様直段共にいろいろ

御安心出來る まからず屋の
呉服洋太物 京城 **丸一** (本町三丁目)(電話六三五)

(借もに霞の衣まとひて)(桃の淡紅)(柳の蒼翠)

官營無煙炭大々的直下
一塊炭 一噸(十二俵) **九圓九十錢** 但弊店渡し
一切込炭 一噸(十二俵) **八圓五十錢** 但弊店渡し

御屆けすれは持込賃貸數及叺代又は叺損料申受け候 其筋の御指定に依り右の通り直下け致し尚ほ區內各所に申込所設置仕候間便宜の場所へ御申込被下度自然前記價格より高價の申出てを爲す者あるも指定價格通り御仕拂可被下候也

平壤官營無烟炭特許一手販賣人
南大門外古市町青坡道
苫米地造酒彌



大好評と大流行の
クラブ洗粉

クラブ洗粉は三越吳服店を始め各化粧品店に販賣せり



破天荒の大安賣出し

時下餘寒尚難凌の候四方各位様益々御清榮奉賀候弊店儀御蔭を以て日に增し隆盛に赴き候段難有奉多謝候就ては平素の御愛顧に酬へん爲め本日より向ふ**一ケ月間**を限り**正札より貳割引**の大廉價を以て販賣仕候間何卒御購求の榮を得たく候也

明治四十二年三月一日

京城本町理事廳前 **富田製靴本店**
同 本町六丁目 **同 第一支店**
同 南大門外 **同 第二支店**

明治廿年創立資本金一千萬圓
日本國火災保險業の嚆矢
東京火災保險株式會社
代辨店 山口吳服店
事務所 京城本町二の三電話九番

學理應用最新術式催眠及無催眠治療
頭痛、吃音、喘息、腎臟病、不姙症、脚氣、淋病
氣鬱症、耳鳴、黃疸、生殖神經病、ヒステリー
神經痛、齒痛、子宮病、神經衰弱、腦病、肩ノ凝
肺病、月經矯正、便秘、アルコール中毒、眩暈
胃腸病、心臟病、脊髓病、寢小便、リウマチス
トラホーム、結膜炎、鳥目、近視

京城若草町一丁目八十七番戶ノ七
(若草町一丁目藤田雜貨店東へ入る二軒目門內櫻井町櫻井掛西へ入る第二蓄生醫院隣)
弘濟療院

精良石油賣出廣告

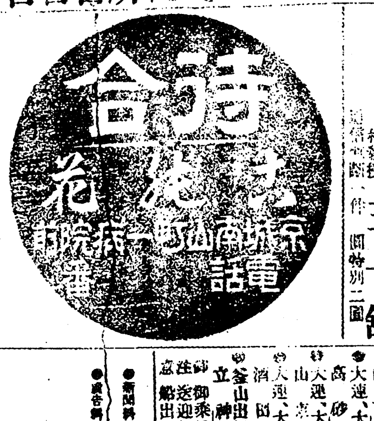


旗票石油は
光力強度鮮明なり
容器美麗堅固なり
容量充滿なり
無色透明なり
臭氣極少なり

各位愈々御繁榮大慶至極に奉存候陳者弊社今般京城に出張所を當國に設け旗票と稱する最上等石油を輸入し精々廉價に販賣致し候間御試の上精々御購求の程偏に奉願候 敬白

ライジングサン石油株式會社
韓國出張所

特約販賣店
仁川英油組合 仁川本町四丁目
釜山英油組合 仁川海岸二丁目
京城英油組合 釜山本町二丁目 京城本町三丁目





公債 貯蓄 勸業
債券讓受
… 長谷川町一丁目 富田屋內 電七二 齋藤

本町五丁目 **三一館**

鴨綠江特種木材九州セメント取次販賣
末口一尺八寸以上長さ五間迄其他各種材
建築業 **柴田芝之六** 旭町三丁目 電話五六八番

合名會社 範多商會韓國代理店 大阪鐵工所韓國代理店
赤阪口福母炭坑會炭部 韓國京城南大門西側
合資會社 **長醫商會韓國出張所** 電話長(八二九番)

石炭直輸入卸小賣
●精撰塊炭●上等塊炭(海軍御用炭)
●荒塊炭●切込炭(鐵道御用炭)
弊店の石炭は自巳炭鑛よりの直輸入なるを以て品質一定斤量正確にして價格低廉に候間目下多量之貯炭有之候間續々御用命被下度奉願候

青々園
風味越味實質の三者を兼備す 正銘宇治茶京都茶 故に尤も進物用に適當なり

茶及茶器商 京城本町四丁目
青々園茶舖

▲清潔の下宿▼
客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候
壽町二丁目十番戶横小路(元花屋跡)
かめ屋
▲懇切の下宿▼

日本郵船株式會社仁川出帆廣告
瀛船仁川貨物及船客取扱店
仁川海岸通 **郡回漕店** 電話三九番

●大連行(船客御斷)
新潟丸 三月二十三日正午時出
●釜山長崎門司神戶行
山東丸 四月十一日後三時出
●大連、芝罘、牛莊行
高砂丸 三月 日正午
●大連、芝罘、牛莊行
山東丸 三月三十日前五時
●大連、芝罘、牛莊行
酒田丸 四月八日正午
●釜山出帆、元山、清津、浦鹽行
立神丸 三月 日午後
注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ稅關棧橋ヲ發ス

●新聞料 一枚金二錢▲一ケ月前金…
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一圓四十錢▲…

發行兼編輯人 秋山忠三郎
印刷人 木久馬太
發行所 京城新報社 電話六…三番